

## 道路管理者以外の者が行う街路樹移植の取扱要領

### 1 目的

この要領は、緑の損失防止と一層の緑の増加を図ること及び申請者の過度の負担を防ぐことを目的とする。

### 2 方法

原則的にすべて移植するものとする。

(1) 低木(通常の成木で樹木の高さが1.0m未満のもの、さつき等)について  
すべて移植とする。

(2) 中木、高木(通常の成木で樹木の高さが1.0m以上のもの)について

基本的に移植とする(支柱を含む)。ただし、ア又はイによることができる。

ア 目通り幹周(根鉢の上端より1.2m)で60cm(直径約20cm)以下のものは、すべて移植する。

イ 目通り幹周で60cmを超えるものについては、伐採することができるが、伐採1本につき目通り幹周が20cm(直径約6～7cm)以上の指定樹種の2本を指定場所に補植する。なお、補植に係る枯れ補償期間は、検査完了の日から1年間とする。

(3) 工事について

造園業者が行うものとする。

### 3 適用年月日

この要領は、平成5年5月27日より適用する。

この要領は、平成22年4月1日より適用する。